実習内容
ならびに
スケジュール

病理診断科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	オリエンテーション・剖検症例配付	大江	9:00	8号館8階病院病理部 カンファレンス室
	病理検査室見学・症例検討会			10号館3階病理検査室
	泌尿器病理カンファレンス参加	大江	17:15	8号館8階病院病理部 カンファレンス室
火	組織診断実習	木原/中西/長谷川	13:00	8号館8階病院病理部 カンファレンス室
水	講義	木原/三林	10:00	8号館8階病院病理部 カンファレンス室
	CPC参加	教員全員	16:00	集合場所は月曜に伝達
木	講義	河野 （藤井/松尾/吉安）	10:00	8号館8階病院病理部 カンファレンス室
	組織診断実習	松田、他	12:40	8号館8階病院病理部 カンファレンス室
金	組織診断実習	山崎	9:00	8号館8階病院病理部 カンファレンス室
	剖検症例発表・総括	大江	13:00	8号館8階病院病理部 カンファレンス室

◎　診療科名：　病理診断科

◎　責任者氏名：　大江 知里 主任教授

◎　指導教員氏名：

松田 育雄 准教授、木原 多佳子 講師、山崎 隆 助教、河野 洋 助教、

三林 聡子 病院助手、中西 麻衣 病院助手、長谷川 国大 病院助手、

藤井 健一 非常勤講師、松尾 祥平 非常勤講師、吉安 可奈子 非常勤講師

◎　実習概要

１．カンファレンス・CPC参加　２．病理検査室の見学　３．講義　４．病理組織診断実習　５．解剖症例のまとめと発表などを行い、病理診断領域における重要な疾患に対する的確な診断ができることを目指す。

◎　各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

・病理組織標本作製・細胞診標本作製の過程や両者の違いを説明することができる。
・術中迅速診断や病理解剖の意義を述べることができる。
・重要な疾患の病理組織像や細胞像について自ら所見を述べることができる。
・解剖で得られた組織が正常か異常かを判断し、解剖所見をまとめることができる。

◎　準備学習ならびに事後学習に要する時間

・４年次の講義資料、特に総論部分についてよく復習しておくこと（１日）
・病理組織図をみて、重要疾患の病理組織・細胞像を確認しておくこと（１日）

◎　評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、病態の把握、EBM（文献に基づいた考察）、プレゼンテーション技術（構成、スライドの見やすさ、伝え方など）について評価。
評価基準をルーブリックで明示。

【知識★】

点数	基　準
5	代表的な疾患の詳細な病理組織像を、病因・病態と関連付けて、深く理解し、正確かつ明瞭に説明できる。稀な所見や鑑別診断についても言及できる。
4	代表的な疾患の詳細な病理組織像を、病因・病態と関連付けて、正確かつ明瞭に説明できる。
3	代表的な疾患の病理組織像の概要を、病因・病態と関連付けて説明できる。
2	代表的な疾患の病理組織像のうち、最重要事項は説明できる。説明に誤りや不正確な点が見られる。
1	代表的な疾患の病理組織像が部分的にのみ説明できる。説明が不正確で、理解度が低い。ほとんど説明できない。

【態度（積極性）★】

点数	基　準
5	的を得た質問や発言が積極的にできる。
4	質問や発言が積極的にできる。
3	質問や発言を意欲的にできる。
2	質問や発言が時にできる。
1	質問や発言がない。

【コミュニケーション★】

点数	基　準
5	相手の理解度に合わせて正確かつ明瞭に伝達できる。 傾聴力、共感性も高い。
4	正確かつ明瞭に伝達できる。 傾聴力、共感性もある。
3	概ね正確に伝達できる。 傾聴力、共感性も示せる。
2	情報伝達に不明瞭な点あり。 傾聴、共感性に欠ける場合あり。
1	情報伝達が困難。傾聴、 共感性がない。

【病態の把握】

点数	基　準
5	臨床情報を総合的に判断し、病態を深く理解できる。 鑑別診断を考慮し、稀な病態にも対応できる。
4	臨床情報を総合的に判断し、病態を深く理解できる。 鑑別診断も考慮できる。
3	臨床情報を総合的に判断し、基本的な病態を理解できる。 鑑別診断もある程度考慮できる。
2	臨床情報の判断に誤りあり。病態の理解が不十分。 鑑別診断への考慮不足。
1	臨床情報を適切に判断できず、病態を全く理解していない。 鑑別診断を考慮できない。

【EBM（文献に基づいた考察）】

点数	基　準
5	最新文献を批判的に吟味し、エビデンスに基づいた考察ができる。 妥当性、論理性、独創性が高い。
4	最新文献を吟味し、エビデンスに基づいた考察ができる。 妥当性、論理性も高い。
3	関連文献を参考に、エビデンスに基づいた考察ができる。 妥当性、論理性は概ね良好。
2	文献引用が不適切。エビデンスに基づいた考察が不十分。 妥当性、論理性に問題あり。
1	文献参照せず経験則のみで考察。エビデンスに基づいた考察ができない。 妥当性、論理性が低い。

【プレゼンテーション技術（構成、スライドの見やすさ、伝え方など)】

点数	基　準
５	論理的で卓越した構成で聴衆を引き込む。 スライドは見やすく情報整理されている。 声の大きさ、速さ、間も適切。 質疑応答にも的確に対応できる。
４	論理的な構成で聴衆に分かりやすい。 スライドは見やすく情報整理されている。 声の大きさ、速さ、間も適切。 質疑応答にも適切に対応できる。
３	概ね論理的な構成。 スライドは見やすく情報がある程度整理されている。 声の大きさ、速さ、間も概ね適切。 質疑応答に適切に対応できる。
２	構成が不明瞭で分かりにくい。 スライドが見にくいか情報が整理されていない。 声の大きさ、速さ、間が不適切。 質疑応答に十分に対応できない。
１	構成が著しく不明瞭で理解できない。 スライドが著しく見にくいか情報が全く整理されていない。 声の大きさ、速さ、間が著しく不適切。 質疑応答に対応できない。

◎　中間評価とフィードバック

木曜の 12 時４０分から中間フィードバックとしてプレゼンテーション内容のチェックを行う（木曜休日の場合は水曜の 12 時４０分から）。

◎　注意事項

月曜は９時００分までに病院病理部カンファレンスルーム（８号館８階）に集合のこと。(月曜休日の場合は火曜の１３時００分に集合)
各種カンファレンスのうち、初日のオリエンテーションで指示したものには参加すること。
休日を開院日としている場合は実習を行わない。